



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

上 場 会 社 名 中 央 物 産 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 児 島 誠 一 郎
(コード番号 9852)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 副 社 長 原 幸 男
(TEL 03-3796-5075)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績の差異について

(1) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当り四半期純利益
前回発表予想 (A)	57,000 百万円	270 百万円	160 百万円	16.39 円
実 績 (B)	58,383 百万円	152 百万円	116 百万円	10.67 円
増 減 額 (B-A)	1,383 百万円	△117 百万円	△43 百万円	—
増 減 率	2.4 %	△43.4 %	△27.1 %	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	55,070 百万円	△464 百万円	△591 百万円	△53.85 円

(2) 差異の理由

当第 2 四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の財政政策や日銀の金融政策によって企業収益や雇用情勢には改善が見られ、個人消費も緩やかながら回復基調にあります。

このような状況のもと、連結業績は子会社の収益が好調に推移したことにより、概ね予想通りの結果となっております。個別業績は、マーケティング&セールス活動により売上高は予想を上回って伸ばいたしました。が、車両費や雇用環境の改善に伴う賃金増などによって物流費が増加し、併せて売上割戻金の増加に伴う売上総利益率の低下などにより、利益は当初の予想を下回る結果となりました。

当社は、今後も引き続きマーケティング&セールス活動を強化し続け、同時にサプライチェーンにおける全体最適な物流プロセス改善などのコスト構造改革によって、更なる収益改善を進めてまいります。

従いまして、平成 28 年 3 月期通期の個別業績予想は据え置いております。

業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

以 上